## 第112回 伊豆步興樂部 2月例会

第14回 伊豆早春フラワーウオーキング 第14回 河津投ソーデーマーチ

2012年2月11日(土) 天気: くもり / 2月12日(日) 天気:晴れ

## 【参唱数】

	30 K m	20 K m	10 K m	合計
天城越えコース	106 人	173 人	238 人	517人
伊豆東浦路コース	55 人	145 人	287 人	489 人
計	161 人	318 人	525 人	1006人

伊豆歩県第1日目40人、2日目34人の参加でした。

- ・1日目天城域えコース。例年、旧天城トンネルを通って峠を越える「天城域え」が、落石の影響で峠に続く遊坊道が通行止めとなり、 河津七竜脱センターまでの折り返しとなった。新たに、泉奥原の「わさび田」や「佐ケ野渓谷」が加わりとても好評でした。
- ・2日目伊豆東甫路コース。河津労よつおかのままでした。20・30キロはアップダウンの繰り返しのコースで多くの参加者が息を上げていました。見高入谷高原温泉の「えびかに汁」はおいしかつたです。30キロコースはさらに稲味まで歩を進めました。早春の東伊豆海岸は輝いていてとてもきれいでした。

## 河津桜ソーデー・樹ままだでした







11日 河津ソーデーマーチ。福井県からの参加者の檄で出発。







まず桜並木のメインストリートを歩きます。

今年は様子が一変しています。本来なら河津勤やされいの第1701で観光客でごった返しているところですが、残念ですが労がまったく咲いていません。







コースは可事をいから七竜方面に向かって登っていきます。

つり橋の風景もあります。







ここのおもてなしの「豚汁」が毎年おいしいのです。

具だくさんでじっくり煮込んであります。







「ワサビ田」のある泉奥原という地区に登りました。

大きなワサビ田でみごとでした。蔵にスズメバチの巣がぶらさがっている風景。

トラックの荷台には、いま撃ち取った「鹿」が無台作に寝かされていました。のどかな山の田舎の風景です。







流が早、渓谷があるのです。見応えがありました。







ふたたび対応村に戻ってきました。 桜の咲いていない 桜が村は寂しい ものです。 でも売店がいっぱい 出ていますので、 店をのそいて歩くのも楽しいにとでしょう。

河津炎の満開は2月末でしょう。花の観光は難しいものです。

## 第14回 河津桜ソーデーウオーク20キロアンカーを経験して

伊豆步县辖沿县No.501 社本真一·No.502 社本峰子

第1回目の河津妥ウオークは満開の桜に感激しながら歩いたことを覚えています。今回のウオークは桜が咲いていない中20キロアンカーとしてのスタートとなりました。

その方が数歩丸 には立ち止まるのに同じように立ち止まりながら、視野に入らない様にそっと付いて歩く私達の姿に、一緒に 歩いていた主人が"だるまさんがころんだ"ウオークみだいだね。のつぶやきに大笑いしたり、既に折り返してすれ違ったウオーカーの皆さんから「ごくろう様」の声をかけて頂いて元気回復!、小学生の女の子達が「みかん狩りしたんだよ」と駆け寄ってきてみかんをもらったりと嬉しいことも多かったです。

ゴールや休憩所ではスタッフの方々の心からの"お疲れさまでした"に救われ安堵しながら帰路こつきました。

(社本 峰子)

今回のウオークはアンカーの役割とは何かということを考えさせられるウオークでした。

アンカーの役割の一つは、ウオーカーに何かトラブルが起こった時にその場で待っていればアンカーが来て何らかの対応をしてくれる。水分離合や日陰への種類などの応急処置と本部への連絡、応援要請などにあると思います。

アンカーの前を歩く人が余りにも他の人から遅れた場合、他の人が助けを必要とするときに間に合わなくなってしまうことが 危惧されます。とは言ってもゴールの最終時間が決まっている以上、その時間になるまではゆっくり楽しんで歩く権利を皆さん 持っていることも確かです。遠くから参加されてただひたすら歩くだけではもったいない、時間一杯寄り道して楽しんで歩きたい と思われる方もいらっしゃいます。

このあたりどう折り合いを付けたらいいのか難しい問題です。どなたか答えをお持ちの方教えてください。今回は林憩地点で前の方との時間差が1時間以上になり、このままでは時間内のゴールが出来ない恐れが高いとのスタッフの方の判断で、アンカーも含めて前の方に追いつくところまで車で移動してもらいました。こういった暗機が変な対応が大切なんだなと一つの答えを頂いたような気がします。

(社本 真一)